

低入札価格調査の実施経緯

件 名	国立小樽海上技術短期大学校旧校舎 産業廃棄物等解体・収集運搬・廃棄処理業務一式
調査対象事業者名	株式会社ESG
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 当該価格により入札した理由及びその内訳書 ② 当該契約の履行体制 ③ 手持ち業務等の状況 ④ 過去3年間の受注実績【国・地方公共団体】受注・履行した同種の契約件名及び発注者 ⑤ 経営内容(貸借対照表・損益計算書) ⑥ 本業務の工程表
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 当該価格により入札した理由及びその内訳の確認 ② 当該契約の履行体制の確認 ③ 手持ち業務等の状況の確認 ④ 過去3年間の受注実績【国・地方公共団体】受注・履行した同種の契約件名及び発注者の確認 ⑤ 経営内容(貸借対照表・損益計算書)の確認 ⑥ 本業務の工程表の確認
調査結果及び結論等	<p>①当該価格により入札した理由及びその内訳について 配布した仕様書の精査したところ、これまでの業務経験や現地調査に基づき、充分対応できると判断し、入札価格を決定したこと。本校との予定価格とは乖離があるが、同様業務の実績や蓄積したノウハウを元にコストダウンが可能と考え、社として可能な限り安価な価格にて提供することを決定したことによるものであり、本校の仕様書に基づいた業務を行うことは可能と判断したこと。</p> <p>②当該契約の履行 社として適切な作業が可能となる人員を確保しており、さらにこれまでの受注実績から委託先との協力体制が十分に構築されており、仕様書記載の業務を確実に遂行できること。</p> <p>③手持ち業務等の 同時期に受注している業務は現時点では多数であるが、年度契約の産業廃棄物収集運搬が殆どであるため本件に対して充分なリソースを確保しており、本件業務を行う上で支障はないとのこと。</p> <p>④過去3年間に受注 国立研究開発法人等の同種業務の受注実績があり、実績には問題ないと考える。</p> <p>⑤決算報告書の内 貸借対照表・損益計算書を確認したところ経営上特段の問題は見受けられず、健全な経営が行われている。</p> <p>⑥本業務の工程表について 作業実施場所の規模や物量を正確に把握した上で工程表を作成しているため、業務を行う上で特に問題はない。</p> <p>上記のとおり、当機構の設定した調査基準価格を下回る入札価格ではあったが、最大限の原価削減努力と受注意欲が高かったことによる結果であり、当機構の仕様書に基づいた業務の実施は十分可能であると判断される。</p>